

Information

第 52 回日本看護学会 学術集会 (Web 開催)

日時▶[LIVE 配信] 11 月 18 日(木)～19 日(金), [オンデマンド配信] 11 月 26 日(金)～12 月 26 日(日)

テーマ▶看護の力で健康な社会を！

プログラム▶基調講演「看護の力で健康な社会を！」 福井トシ子 (日本看護学会学術集会会長)／特別講演①「2040 年を見据えた看護の課題とその対応」 井伊久美子 (日本看護協会)／②「2AI 時代におけるこれからの看護とは」 真田弘美 (東京大学)／③「新型コロナウイルス感染症における日本の医療体制 (仮)」 尾身茂 (地域医療推進機構)／教育講演①「未来に向かって看護の真価を発揮—生涯にわたり専門職の誇りと自覚を持ち続ける」 手島恵 (千葉大学)／②「データヘルス改革によって医療・看護現場がどう変わるか—健康寿命の延伸, 効果的・効率的な医療・看護サービスを目指して」 北岡有喜 (京都医療センター)／③「これからの社会に期待される看護の役割—看護の力で健康な社会を！ (仮)」 大谷泰夫 (神奈川県立保健福祉大学)／④「コロナ禍におけるハラスメント対策—看護職をとりまく状況から」 友納理緒 (日本看護協会)／シンポジウム①「母子が健やかに子育てできるまちづくりに取組もう！」 佐藤拓代 (母子保健推進会議) ほか／②「タスク・シフト／シェアの流れに看護はどう対応していくべきか—看護の専門性を発揮するタスク・シフト／シェア」 井本寛子 (日本看護協会) ほか／③「2025 年に向け, あなたの施設で必要な人財は?—『特定行為研修を活用したマネジメント』」 吉岡佐知子 (松江市立病院) ほか／④「『新型コロナウイルス感染症から学ぶ』—保健・医療・介護・福祉の連携を考える」 松本珠実 (大阪市) ほか／交流集会①「はじめよう! 地域課題の解決にむけた事例検討会—保健師・助産師・看護師がつながる新たなカタチ」 岩本里織 (神戸市看護大学) ほか／②「看護の力をさらに引き出す—看護業務の効率化を進めよう!」 保坂明美 (トラントユイット訪問看護ステーションフレンズ) ほか／③「知ってトクするナースセンター

活用術!—仕事探しだけじゃない! あなたのキャリアをキャリアコンサルタントが支援します」 廣島博美 (神奈川県看護協会神奈川県ナースセンター) ほか／④「多職種協働に向けた DiNQL データの活用—労働と看護の質向上を目指して」 松本美保子 (回生病院) ほか／⑤「看護の力, 新たなアイデアで健康な社会をつくろう!—看護職の地域における活動の場の広がり」 高橋弘枝 (大阪府看護協会) ほか／⑥「継続教育の形が変わる—オンライン教材を活用した看護実践力の強化」 西村礼子 (東京医療保健大学)／⑦「2040 年を見据えた看護職資格の活用基盤の強化—20 年後も人々の健康を支えるために」 秋山智弥 (日本看護協会) ほか／⑧「看護が健康な社会をつくるためのリーダーシップとエビデンス」 大田えりか (聖路加国際大学) ほか／都道府県看護協会公募企画④「愛知県: 地区支部が初動する災害時応援体制—医療機関からの SOS 情報をキャッチし, 応援体制を整える」 高木仁美 (愛知県看護協会) ほか／⑤「新潟県: 専門性の高い看護職員の育成に向けて—県内の各機関と連携しての取組み」／⑥「奈良県: 在宅看護特別教育プログラム—看護学生の時から看護実践力を育てる継続教育プログラム」 伊藤絹枝 (奈良県看護協会ホームナースングセンター) ほか／一般公募企画③「行政と特定機能病院が連携したフレイル / オーラルフレイル予防」 渡邊仁美 (鳥取大学医学部附属病院) 参加登録費▶ 会員 9900 円, 非会員 1 万 4850 円, 学生 4400 円 参加登録方法▶ 下記 Web サイトの参加登録フォームより 問い合わせ先▶ 運営事務局 〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1 幕張メッセ・事業企画課内 ☎ 043-296-0623 (平日 9:00～17:30) FAX 043-296-0529 ✉ 2021makuhari@jnagakkai.jp https://2021makuhari.jnagakkai.jp/index.html

第 39 回日本東方医学会 (現地 + Web 開催)

日時▶11 月 28 日(日)10:00～16:30

会場▶御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター ソラシティホール2 階 (東京都千代田区)

テーマ▶耳・鼻からはじまる健康長寿—本邦初! 東方の叡智が集結

プログラム▶会頭講演「温故知新の耳鼻咽喉科」 北西剛 (きたにし耳鼻咽喉科)／教育講演「東洋医学の謎を解く新たな臓器『ファシア』」 建部陽嗣 (量子医学研究所)／シンポジウム「漢方・アーユルヴェーダ・チベット 東方医学の叡智集結」 奈良和彦 (東邦大学) ほか

参加費▶[事前申込] 会員 7000 円, 非会員 1 万円, 学生 1000 円, 同行の事務員, 看護師 3000 円

※2020, 2021 年度入会者は無料 (会員募集中)

問い合わせ先▶事務局

☎ 03-6264-3015 (平日 10:00～16:00)

FAX 03-6264-3016

✉ gakkai@jptoho.or.jp

https://www.jptoho.or.jp/

第 41 回日本看護科学学会 学術集会 (Web 開催)

日程▶[LIVE 配信] 12 月 4 日(土)～5 日(日), [オンデマンド配信] 11 月 19 日(金)～12 月 28 日(火)

テーマ▶共創による新たな看護科学の可能性

プログラム▶会長講演「共創による新たな看護科学の可能性」 百瀬由美子 (愛知県立大学)／特別講演「道具を創り使って活動を診る」 才藤栄一 (藤田医科大学)／教育講演①「価値の共創からあらたな看護支援システムを構築する」 水流聡子 (東京大学)／②「エスノグラフィーを中心とするフィールドワークの概念と手法」 磯野真穂 (医療人類学者)／③「抽象概念を測定する」 中山和弘 (聖路加国際大学)／シンポジウム①「災害看護への分野横断的研究アプ

ローチ」寶馨（京都大学）ほか／②「新型コロナウイルス感染症時代における外国籍住民の保健医療課題」大谷かがり（中部大学）ほか／③「看護科学と心理学の共創による新たな視点—最新のコミュニケーション研究をめぐって」／教育セミナー①「COVID-19と患者安全」長尾能雅（名古屋大学）／②「感性デザインによる情緒的支援と評価」岡崎章（拓殖大学）／③「オンライン授業のベストプラクティス」前田留美（東京医科歯科大学）／④「実践知を現象学的に理解する」村上靖彦（大阪大学）／ワークショップ①「現場を支える臨床倫理コンサルテーション」明石恵子（名古屋市立大学）ほか／②「災害対応教育プログラム—減災教育ゲームの体験」新美綾子（日本福祉大学）ほか／③「自尊心回復グループ認知行動療法プログラム」國方弘子（香川県立保健医療大学）ほか／一般演題／交流集会／ランチョンセミナー

参加費▶[当日申込] 会員 1万3000円、非会員 1万5000円

参加登録方法▶ 下記 Web サイトの「会員・非会員一般申込」「非会員学生申込」ボタンより

問い合わせ先▶ 運営事務局

〒451-0075 愛知県名古屋市中区康生通2-26 オフィス・テイクワン内

☎ 052-508-8510

FAX 052-508-8540

✉ jans41@cs-oto.com

<https://www.cs-oto.com/jans41/index.html>

第45回日本高次脳機能障害 学会学術総会（現地開催）

日程▶ 12月9日（木）～10日（金）

会場▶ ビッグパレットふくしま（福島県郡山市）

テーマ▶ 情動を揺り動かすもの、鎮めるもの—高次脳機能障害対応の手がかりを求めて

プログラム▶ 会長講演「情動を揺り動かすもの、鎮めるもの：高次脳機能障害対応の手がかりを求めて」佐藤睦子（脳神経疾患研究所附属総合南東北病院）／特別講演

「わが国における高次脳機能障害支援の展望」中島八十一（長野保健医療大学）／シンポジウム①「地域における失語症支援の展開」阿久津由紀子（竹田綜合病院）ほか／②「臨床神経心理士：学会認定資格取得のお勧め」佐藤厚（五泉中央病院）ほか／③「多言語話者の失語症」福永真哉（川崎医療福祉大学）ほか／④「高次脳機能障害者の自動車運転：各地の取り組み」外川佑（新潟医療福祉大学）／ミニ・セミナー①「読み書き障害」櫻井靖久（三井記念病院）／②「行為障害」中川賀嗣（北海道医療大学）／③「高次脳機能障害の世界を垣間見る」先崎章（東京福祉大学）／④「加齢と高次脳機能障害」大槻美佳（北海道大学）／⑤「失語症、そして復職」管るみ（脳神経疾患研究所附属総合南東北病院）／ワークショップ：謎解き実践講座「上級編①この認知症の本態は？」石原健司（旭神経内科リハビリテーション病院）／「上級編②この言語症状は何？」内山良則（大阪市立総合医療センター）／「中級編①うつとアパシーを見極める」船山道隆（足利赤十字病院）／「中級編②刺激症状と脱落症状」鈴木匡子（東北大学）／「初級編①この失語症状への対応は？」中川良尚（江戸川病院）ほか／「初級編②覚醒下手術の実際」藤井正純（福島県立医科大学）

問い合わせ先▶ 運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社 東北支社

〒980-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町4-34 丸金ビル 6F

☎ 022-722-1311 FAX 022-722-1178

✉ 45jshbd@convention.co.jp

*掲載している情報は9月30日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。